

無所属

横浜市会議員（磯子区）

ふた

い

令和6年

11月

二井くみよ

市政報告 Vol.36



令和6年第3回定例会で市政を質す！

水道局の災害対応や学校現場が抱える課題等を質疑しました。

Check!

局別審査（10月4日）での水道局への質問

二井質問

実際に被災地に派遣された横浜市職員の方から、「福祉避難所への給水活動を行ったが、給水タンクの備蓄が足りずに全ての水を入れられずもったいなかった」というお話を伺った。こうした教訓を生かすため、横浜市の福祉避難所の受水設備の状況を個々に把握し、必要な施設にはタンクを事前に備えるべきではないでしょうか？



二井くみよ 委員
民主フォーラム 磯子区

水道局
答弁

本市が被災した場合、被災施設が給水を受ける際に必要な設備が整っていないということがないように、今回の給水活動で得た経験をしっかりと健康福祉局と共有していきます。



課題

給水は水道局、福祉避難所は健康福祉局が所管していて「縦割り」が生じています。しかし、福祉避難所とは災害時に高齢者や障がい者など、特別な支援を必要とする人々が安全に避難して適切なケアを受けていただくための施設であり、水は絶対に欠かせません。水道局と健康福祉局がしっかり連携して備えを万全にしておく必要があります。

その他 ●給水スポットの活用 ●ICT活用・DX推進の取組 ほか について質疑を行いました。

Check!

局別審査（10月10日）での教育委員会への質問

二井質問

令和8年度から中学校で全員給食が始まります。それにあたり先日、食缶で保温された温かいカレーを試食したらすごく美味しかったです！しかし、カレーやご飯、汁物は温かく提供できるのに、固形のおかずはなぜ温かくできないのでしょうか？



教育委員会
答弁

給食を衛生的に提供するためには、菌の繁殖が増える「20度～60度」の温度帯を避けて管理する必要があります。例えば、ハンバーグやコロックなどの固形のおかずではこの温度を保ちづらいためです。一方、汁物であれば温度を保つことができ、菌検査でも問題がないことを確認して進めています。

二井の考え

学校給食はまずは安全が最優先です。「安全」と「おかずの温かさ」が両立できないという現状を認識し、その上で例えば固形のおかずでも冷めない保温食缶が開発されたら導入するなど温かい給食提供への工夫をしていくべきです。技術は日進月歩ですので、私も生徒や先生が喜ぶ給食の実現に向けて追求し続けてまいります。



中学校給食を
試食

温かい貝沢山カレーも試食！
人気メニューになりそう！

その他、●危険な遊具の撤去、学校図書館の環境整備・読書バリアフリー ほか について質疑を行いました。

東名の新たなインターチェンジ計画・連節バス専用トンネルの整備?! に迫る!

現在、旧上瀬谷通信施設地区では2027年3月から開催されるGREEN×EXPO2027（横浜国際園芸博覧会）の準備が進められています。一方、博覧会終了後の当該地区はどのように活用されるのでしょうか？市の土地利用基本計画では4つのゾーン（地区）に分けていますが、具体的な姿は見えていません。特に、観光・賑わい地区に「年間1500万人超が来場するテーマパークを整備する」としていますが、内容や採算性については不透明なままです。

こうした中、地区内への「新たなインターチェンジの整備」と「連節バス専用トンネルの整備」計画が打ち出され、2030年代前半の供用開始に向けて各種手続きが進められています。



磯子区からは少し距離がありますが、市民の税金がかなり多く投入される事業ですので決して無関係ではありません。皆様に内容を知っていただきたく特集します。

1. 新たなインターチェンジの整備（整備費用：約360億円）

横浜町田インターからわずか1.5kmの距離に、東名高速道路と直結するフルスペックのICを整備する計画です。日常交通の渋滞緩和や、「物流地区」へのアクセス向上、今後整備予定の広域防災拠点の機能強化を図ることを目的としています。

2. 瀬谷駅から上瀬谷までの連節バス専用トンネルの整備（整備費用：約466億円）

瀬谷駅北口から上瀬谷（上瀬谷小学校東側交差点付近）まで、環状4号線（海軍道路）の地下を通る連節バス専用のトンネルを整備する計画です。今後整備予定の大型テーマパーク来場者の円滑な移動などを目的としています。



今回示された2つの整備計画は、膨大な公費を投入するにもかかわらず、その必要性についての具体的な根拠に乏しく、また整備手法や費用負担の在り方などの議論が進んでいません。

横浜市はこれから人口減少・高齢化が進みます。今後の新たなインフラ計画は将来を見据えて真に必要な事業に限るべきです。むしろ、高い確率で起きると予測される大規模災害に備えた既存インフラの耐震化や長寿命化を優先すべきではないでしょうか。二井くみよはこれら2つの事業の在り方について、今後の定例会など様々な場面で行政の姿勢を質してまいります。

二井の視点

二井くみよ プロフィール

- ◆1982年9月6日生まれ ◆千葉大学法政経学部卒業
- ◆国会議員秘書（13年間）～民間会社勤務
- ◆就労移行支援事業所 就労支援員
- ◆行政書士・防災士
- ◆横浜市議員2期目（無所属）
- ◆建築・都市整備・道路委員会/健康づくり・スポーツ推進特別委員会
- ◆民主フォーラム横浜市議員団
- ◆磯子消防団第4分団/横浜防災ライセンス・磯子



<HPはこちら>



是非ご登録・ご覧ください!

LINE 公式アカウント



二井くみよ事務所

〒235-0045
横浜市磯子区洋光台 3-17-29
サウスウィンド 101
電話：045-654-4497
FAX：045-330-7799
MAIL: futaikumiyo@gmail.com

市政に優しさとスピードを!!